

剪定屋便り

vol,2 実生木「3つの対策」

剪定屋 安行椿の稲垣です。
お庭の樹木の管理を
ご自身でやられている方の
参考になる情報をお伝えする
「剪定屋便り」
よろしければご覧ください。

知らないうちに生えてる "実生木"

お客様とお話をしていると
「植えた記憶がないのに、いつの間にか
大きくなってしまったので伐採したい。」
というご依頼をいただくことがあります。
この樹木の多くが、種が飛んできて発芽した
"実生木(みしょうぼく)"です。
ムクノキやエノキ、アカメガシワやシュロ等、
多くの樹木が種から成長します。放っておくと
成長してフェンス等を壊すこともありますので、
気づいたら早めの対処がおすすめです。

対策(1) 根を抜く



実生木は、何度切っても
新しい枝葉が生えてくる
ケースが多いです。
ですので、発芽して1~2年
の根がしっかりしていない
時期に根から抜くのが一番
コストも手間もかかりません。
ただし、無理に抜くことは、
腰を痛める原因になるので
禁物です。

対策(2)

何度も枝葉を切る



太くなってしまっていたり、
根が他の樹木に絡んで抜く
ことが出来ない場合は、
出てくる枝葉を何度も
切りましょう。
時間が経つと、枝葉の処分に
困る大きさに成長してしまう
ので、枝葉が細いうちに
切ることが大切です。

対策(3)

除草剤やチェーンオイル を塗る



枝葉を切る手間をかけられ
ない場合は、切り口に除草剤
(原液)を塗りましょう。
その際、除草剤が垂れて
周りの樹木に影響を与える
ことがあるので、
その点は注意が必要です。
除草剤に抵抗がある場合は、
チェーンオイルを塗って
みてください。